

令和5年第4回定例会 提案理由説明書（十二月四日追加提案）

ただ今追加提案しました第百八号議案 令和五年度大分県一般会計補正予算(第三号)について、説明申し上げます。

本議案は、去る十一月二十九日に成立した国の補正予算などを踏まえた諸施策を措置するものです。その額は、三百五十八億三千六百五十万二千円であり、これに既決予算額を合わせますと、七千七百九十六億七千二百一万一千円となります。

以下、主なものを説明申し上げます。

（物価高への対応）

初めに、物価上昇の影響を大きく受けている生活者・事業者への支援についてです。コロナ禍を乗り越え、県内景気が緩やかに回復する中、この動きを確かなものとするためにも、切れ目なく迅速に対策を講じていく必要があります。

そこでまず、国による電気・ガス料金や燃料油価格の激変緩和措置が、来年四月末まで延長されたことを受け、これを補完すべく、対象外となるLPガス消費者や特別高圧で受電する中小企業への負担軽減策を継続します。また、地域住民の足や観光客の移動手段として欠かせない乗合バス・タクシー事業者は、国の支援を受けてもなお、厳しい経営環境に置かれています。そのため、県独自に燃料費の一部を助成する制度についても延長します。加えて、家庭や事業者における再生可能エネルギーへの転換を促進していくことも重要であり、太陽光発電設備等の導入に対する補助事業を拡充します。現在、当初の想定を上回る要望が寄せられていることから、予算額を増額するとともに、賃上げに取り組む事業者には、補助単価等を引き上げる賃上げ枠を設け、さらなる導入を図ります。

畜産では、飼料価格の高止まりが続く中、物価高による牛肉の買い控えに伴い、子牛価格が下落する状況も重なり、生産農家の経営を大きく圧迫しています。このため、子牛の価格保証を図ることを目的とした国のセーフティネット制度と歩調を合わせ、県でも独自にその一部を補填し、下支えしていきます。その上で、今後を見据え、生産基盤を強化しておくことも大事であり、優良な若い繁殖雌牛への更新に取り組む生産者に対し、国の奨励金に上乘せして助成します。

多くの中小企業・小規模事業者においても、コロナ禍で資金繰りのために借り入れた、いわゆるゼロゼロ融資の本格的な返済の開始とあいまって、先行きに対する不安感が増しています。県では、今年一月に創設した、融資の借換え等に対応可能な制度資金により、事業者の資金繰りを支援しているところですが、今後のさらなる借換え需要に備え、融資枠を拡大します。

（人手不足解消に向けた持続的な賃上げの実現）

物価高に加え、人手不足も深刻化しており、そうした現状に打ち勝つためには、生産性を向上させ、持続的な賃上げを実現していかなければなりません。そこで、中小企業等がその原資を確保できるよう、ロボットやAI等の導入経費に対し、国の補助金に上乘せして支援します。合わせて、積極的な賃上げを行う事業者には、さらに補助率を引き上げる賃上げ枠を設定し、生産性向上につながるDX投資を強力に後押ししていきま

す。

一方、慢性的な人手不足が続く医療・福祉分野における職員の賃金は、公的価格である介護報酬等によるところが大きく、他の職種に比べ、その水準が低いことが課題となっています。こうした中、介護や障がい福祉サービス事業所の職員などについて、公的価格の見直しに先立ち、来年二月から五月までの間、処遇改善のための補助金が措置されたところであり、今回、その所要額を補正します。

（県土の強靱化と農林水産業の成長産業化）

頻発・激甚化する災害から県民の命と暮らしを守る県土づくりも、緊急性を増しており、事業を前倒しして執行すべく、国土強靱化五か年加速化対策を最大限に活用します。これにより、再度災害防止に向けて、玖珠川や山国川などで実施している河道拡幅等の改良復旧を着実に進めてまいります。また、災害時には命の道としての機能を持つ道路整備も急ぎます。このうち、中津日田道路に関しては、今年度中に開通予定の「田口～青の洞門・羅漢寺」間に続く、本耶馬溪インターチェンジまでの整備に加え、日田山国道路のトンネル工事進捗を図るため、重点的に予算を投入します。

併せて、農林水産業の成長産業化に関連する公共事業も積極的に計上し、園芸産地の規模拡大に向けた基盤整備を進めるほか、再造林への集中的な支援などによる循環型林業の構築に取り組みます。

（こどもの安全・安心の確保）

こどもの安全・安心を確保するための取組も大切です。そうした中、特に弱い立場に置かれたこどもや若者が学ぶ場において、性被害に遭う事案が後を絶ちません。このため、被害の未然防止と早期発見に向けた対策として、幼稚園や保育所、障がい児施設、児童養護施設などが実施する、パーテーションやカメラ等の整備に対し、助成します。

また、特別支援学校についても、同様の対策を講じるとともに、老朽化が進む教室の大規模改修等を前倒しで実施し、児童・生徒が安心して学べる環境づくりに努めていきます。

なお、今回の補正では、国の対策のうち、現時点で見込めるものをできる限り計上しましたが、これから具体的な内容が判明する事業については、今後の補正等で措置してまいります。

以上をもちまして、提出しました議案の説明を終わります。

何とぞ、慎重御審議の上、御賛同いただきますようお願い申し上げます。